

今週のビルマのニュース 2008年3月28日【0805号】

「この18年の間、何人もの国連特使や特別報告者がビルマを訪問し（中略）軍政に働きかけてきたが、実に35回に上るこれまでの訪問は不首尾に終わっている」

— 88世代学生グループ・全ビルマ僧侶連盟共同声明（26日）

今週の主なニュース：新憲法をめぐる対立続く

「国軍記念日」の27日、軍政トップのタンシュエ将軍がネピドーで演説、軍政の「民主化」計画を進めることを強調した。5月予定の国民投票の日程や、国民投票で是非を問うとする新憲法の草案は未公開のまま。

同じく27日、国民民主連盟（NLD）もラングーンの本部で式典を行った。本部前では約30人が「NO」という言葉を入れたTシャツを着てデモを行い、新憲法に反対するよう呼びかけた。

その他のニュース：GMS サミットほか

・国内で活動する「全ビルマ僧侶連盟」と「88世代学生グループ」が共同声明を発表（26日）。国連による仲介努力の不成功に失望を示すとともに、軍政起草の憲法への反対を表明。共同声明の日本語訳はこちら：

http://www.burmainfo.org/politics/88GS_statement20080326.html

・ビエンチャンで大メコン河流域圏（GMS）首脳会議が開かれる（30～31日）。ビルマからは軍政首相のテインセイン将軍が出席予定。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

一般無償資金協力

今週の約束発表はなし

草の根・人間の安全保障無償資金協力

3月20日 マンダレー管区、給水施設整備（約486万円）

その他

・3月4日、野川駐ミャンマー大使がシャン州コーカン特別区を訪問。昨年8月に日本が113万ドルを支援した国連世界食糧計画（WFP）の事業の式典に出席。

・日本貿易振興機構（JETRO）が化学品安全管理についての技術援助を行う予定。2月に専門家がビルマを訪問した（15日付イラワディ誌ほか）。

イベントなど

・写真展「ビルマ2007 民主化運動：高揚、弾圧、現在」の展示

- バンコク外国記者クラブ（31日まで）
- 佐賀県立女性・生涯学習センター「アバンセ」（4月1～13日）

・メコン談話室「援助は誰のものか～ビルマにおける開発援助と暴力」話し手：渡部沙織さん（メコン・ウォッチ、インターン）（特定非営利活動法人メコン・ウォッチ事務所、4月1日18時半～）

・宇田有三さんスライド&トーク「ビルマ最新取材報告～軍事政権下に生きる人びとの現実とわたしたち」（ひと・まち交流館京都、4月5日18時45分～）
*ビルマ情報ネットワーク箱田徹も出演

・「武力弾圧から半年・ビルマ民主化を求めて一人権侵害の実態と転機を迎えた民主化運動」（青山学院大学青山キャンパス6号館621室、4月6日13時半）

・アースデーイベント「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリーリーディング」いとうせいこうさん他（代々木公園野外ステージ、4月19日14時～）

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」（東京・王子 飛鳥山公園広場、4月27日10時～17時）

・「ビルマ（ミャンマー）東部で何が起きているのか？～紛争・開発・難民 日英若手専門家の報告」（豊島区民センター6階、4月27日18時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）

<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク

<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165